



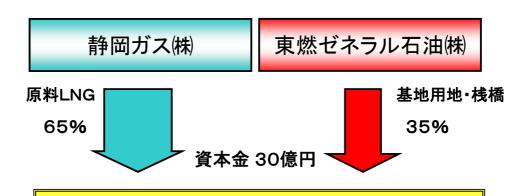
2017年3月24日

清水エル・エヌ・ジー株式会社

清水エル・エヌ・ジー株式会社



静岡ガス㈱と東燃ゼネラル石油㈱ の共同出資によるLNG基地運営会社



清水エル・エヌ・ジー(株)

袖師基地の沿革



1992 清水エル・エヌ・ジー(株)創立(資本金30億円)

1993 袖師基地建設開始

1996 第1号LNGタンク完成(8.3万kL)

マレーシアより第1船受入

1999 ISO14001認証取得

2001 第2号LNGタンク完成(9.4万kL)

フルカーゴにて受入

2006 第3期增設工事着工

2009 7MPa系設備完成

2010 第3号LNGタンク完成(16万kL)

2016 LNGリロード(出荷)設備完成



-2-

静岡ガス株式会社概要





広域パイプラインネットワーク





袖師基地の設備配置図





受入設備





受入設備 LNG桟橋 210,000m³級 LNG揚荷アーム 16インチ×4基

-6-

安全防災設備

電気設備 2系統の受電ケーブル

バックアップ発電設備

消火用海水供給設備

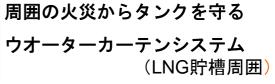
3基(エンジン駆動)

普通消防車 1台(ドライケミカル2t)

防災体制

東燃ゼネラル石油(株)と共同防災締結





防災設備:

ガス漏洩検出器 構内監視カメラ 地震計



保安訓練



••••••••••••			
訓練名			
総合防災訓練	地震総合防災訓練(全員)		
	船陸防災訓練 (全員)		
	地震·漏洩·火災訓練(全員)		
	非常呼出訓練(全員)		
	環境事故対応訓練(全員)		
職場防災訓練	地震訓練(生産G·環安G)		
	避難誘導訓練(全員)		
	消防隊訓練(消防隊)		
	船陸間通報連絡訓練(生産G)		
	屋内消火栓操法訓練(消防隊)		
共同防災訓練	コンピナート共同防災訓練(消防隊)		
	油火災実消火訓練(全員)		
	他事業所との連絡訓練(生産G)		
	SOLAS関連訓練(生産G·環安G)		
袖師共同防災訓練	共同防災訓練(東燃)(消防隊)		
年間約30回			



-8-

地震•津波対策



耐震設計 高圧ガス保安法の耐震設計

東海地震を想定した県指導の耐震設計

液状化対策 LNG地下式貯槽 盛土下部:砂杭打設

その他 重要設備 : 基礎杭打設

津波対策 地盤面:海抜+6~14m

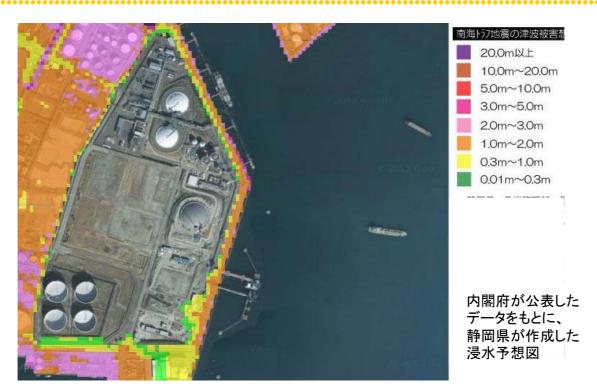
運転対策 ≥ 250 が ル (静岡県指導)

自動停止、自動復帰システム

≧ 400ガル 又は 60カイン

自動停止、手動復帰システム



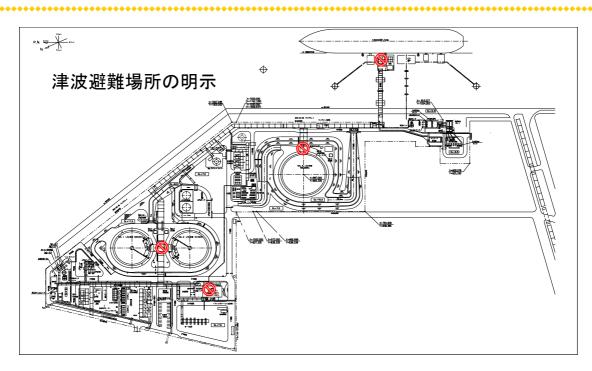


津波高さは海抜+5m程度

-10-

人命の安全確保





SLK構内で直ちに避難できるTP+10m以上の高台4箇所を選定し、避難場所として周知。 地震発生後、3分以内に避難可能。(津波対策)



津波対策(2012)

TP+7.0mの津波を想定し 重要性の高い項目を優先的に対策

THE PROPERTY OF THE PROPERTY O		
設備	項目	対策
7MPa製造設備	ポンプ類(海水P)	現場スイッチスタンド改造処置
	配管類	LNG配管、計装ダクト浮き上がり防止
	付臭設備	付臭室防水
電力設備	各電気室、受電エリア	建屋防水(防水扉、換気口嵩上げ、ケーブル口止水)
防災設備	消火海水P	計装品嵩上げ

天井落下対策(2015)

耐震設計が要求されない建屋内天井等の落下対策を実施

設備	項目	対策
管理棟計器室	天井、空調機など	吊り天井 撤去、空調機など 落下対策
制御機械室	天井	天井 落下対策(防護)
法定熱量測定用 ガスクロ装置	天井	天井 落下対策(防護)
各電気室	ダクト	ダクト 落下対策(防護)

津波対策 実施項目(電気室防水)









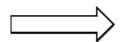
ケーブル貫通部は発泡シーラーで止水

津波対策 実施項目(主要LNG配管固定) SHIZGOS





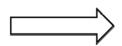
主要配管固定 約360箇所







計装ダクト固定 約320箇所





-14-

天井落下対策例(中央制御室)







-15-

天井落下対策例(制御機械室)



対策前



対策後・盤上部に防護板設置

-16-

天井落下対策例(分析室)



対策前

対策後





行政からの新たな知見、基準等の情報を 収集し、今後の対策を検討し、保安の確保 に努める。

-18-

